

2010年度

科目名	医療薬学演習A				
担当教員	小山 豊、楠本 豊、綿野 智一				
配当	薬科4		コード	31380	
開期	後期	講時	水曜日1限	単位数	
授業テーマ	【必修】 病気のしくみと薬の効き方の理解に必須の知識を総合的に学ぶ。				
目的と概要	病気のしくみと薬の効き方を理解するためには、各疾患の病態生理、疾患にかかる各臓器の機能、生体の防御反応、各疾患に用いる薬物の薬理作用、作用機序およびその副作用について知らなければならない。本科目では、これまでに学んだ解剖学、生理学、免疫生体防御学Ⅰ・Ⅱ、基礎薬理学、薬理学A・B、化学療法学に関する知識を、各教員の与える課題に従って演習形式による反復学習を通じて、その理解を含めることを目的とする。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム C8 生命体の成り立ちの「(1)ヒトの成り立ち、(3)生体の調節機構」、C10 生体防御の「(1)身体をまもる (2)免疫系の破綻・免疫系の応用」C13 薬の効くプロセスの「(1)薬の作用と生体内運命 (2)薬の効き方Ⅰ (3)薬の効き方Ⅱ」および、C14薬物治療の「(3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等) (4)疾患と薬物治療(精神疾患等) (5)「病原微生物・悪性新生物と戦う」)に対応。				
成績評価法	中間試験50点、期末試験50点。ただし平常点を加味し総合的に評価する。				
テキスト					
参考書					
履修に当たっての注意・助言	補助教員:田中 静吾、雪村 時人、小野 史郎				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	演習	神経系の成り立ちと機能	1.神経系の構造・機能およびその調節機構を説明できる。 2.感覚器の構造・機能およびその調節機構を説明できる。	C8(1, 3) C8(1, 3)	知識 知識
2	演習	内分泌系と骨格筋の成り立ちと機能	1.骨格・筋肉・皮膚の名称と位置を示し、筋収縮の調節機構を説明できる。 2.内分泌系臓器の構造・機能および分泌されるホルモンの調節機構を説明できる。	C8(1, 3) C8(1, 3)	知識 知識
3	演習	循環器系の成り立ちと機能	1.循環器の構造・機能およびその調節機構を説明できる。 2.血液の性状・成分および機能を説明できる。	C8(1, 3) C8(1, 3)	知識 知識
4	演習	呼吸器系、泌尿器、消化器、生殖器の成り立ちと機能	1.呼吸器の構造・機能およびその調節機構を説明できる。 2.泌尿器の構造・機能およびその調節機構を説明できる。 3.消化器の構造・機能およびその調節機構を説明できる。 4.生殖器の構成・機能およびその調節機構を説明できる。	C8(1, 3) C8(1, 3) C8(1, 3) C8(1, 3)	知識 知識 知識 知識
5	演習	免疫・生体防御機構	生体防御反応、免疫を担当する組織・細胞、分子レベルで見た免疫のしくみを説明できる。	C10(2)	知識
6	演習	免疫学の臨床応用	免疫系が関与する疾患、免疫応答のコントロール、予防接種、免疫反応の利用について説明できる。	C10(2)	知識
7	演習	免疫の関与する疾患	アレルギー、免疫疾患の病態と治療法が説明できる。	C13(2,3) C14(3,4)	知識
8	演習	薬物の作用するしくみ	薬物の作用するしくみについて、受容体・チャネル・酵素・細胞内情報伝達系など作用する部位における生理反応とともに説明できる。	C13(1)	知識
9	演習	薬物の生体内運命と相互作用	1.薬物の体内動態について説明できる。 2.薬物の副作用、相互作用について説明できる。	C13(1) C13(1)	知識 知識
10	演習	神経系作用薬	1.末梢神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 2.中枢神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13(2) C13(2)	知識 知識
11	演習	循環器系・呼吸器系作用薬	1.代表的な循環器系疾患治療薬をあげ、薬理作用、機序、おもな副作用について説明できる。	C13(2)	知識

			2.代表的な呼吸器系疾患治療薬をあげ、薬理作用、機序、おもな副作用について説明できる。	C13(2)	知識
12	演習	ホルモン関連薬・炎症系疾患薬	1.代表的な炎症性疾患治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。	C13(2)	知識
			2.代表的な利尿薬・血液系作用薬・糖尿病治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。	C13(2)	知識
			3.代表的なホルモン関連薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。	C13(3)	知識
13	演習	消化器系、代謝系疾患治療薬	1.代表的な消化器系疾患治療薬をあげ、薬理作用、機序、おもな副作用について説明できる。	C13(3)	知識
			2.代表的な代謝疾患治療薬をあげ、薬理作用、機序、おもな副作用について説明できる。	C13(3)	知識
14	演習	病原微生物に作用する薬物	1.細菌感染症の病態と抗菌薬の分類、構造、作用機序、抗菌スペクトル、副作用について説明できる。	C14(5)	知識
			2.抗ウイルス薬・抗寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	C14(5)	知識
15	演習	抗悪性腫瘍薬	1.悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。	C14(5)	知識
			2.代表的な悪性腫瘍治療薬を列挙し、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C8(13) C10(2) C13(1, 2, 3) C14(3, 4, 5)	演習	講義室	3(3)	配布資料および指定する教材を使用	90分 x 15回